

21: 「Terakoya☆コモンズ」を目指して

東京学芸大学附属図書館

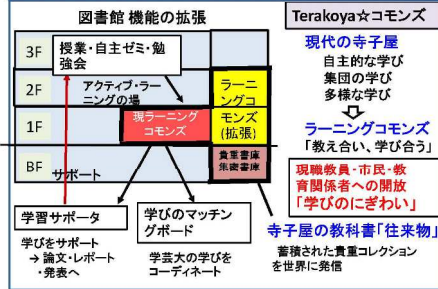
江戸時代の寺子屋と現代のラーニングコモンズ—— 一見意外な組み合わせですが、その「自主的な学び」「集団の学び」「多様な学び」は時代を超えて共通ではないでしょうか？ 東京学芸大学附属図書館は、ラーニングコモンズを拡張し、学びの館「Terakoya☆コモンズ」の実現を目指しています。寺子屋の教科書「往来物」コレクションを教育学の拠点である本学の誇りとして掲げつつ、「教え合い、学び合う」「学びのにぎわい」を現在の環境の中で先取りして創出することを図っています。

「Terakoya☆コモンズ」構想 発表！

館内・Webでパンフレットを配布中！

附属図書館は、ラーニングコモンズが活発に利用され館内のスペースが不足していることから、ラーニングコモンズや書庫の拡張を含む「Terakoya ☆コモンズ」を構想し、実現を目指しています。
このたび、パンフレット「Terakoya☆コモンズ」構想 - 「教え合い、学び合う」場は時代を超えて-」を作成し、館内・Webで配布を開始しました。ぜひご一読の上、実現に向け投書箱や回答フォームにご意見をくださいませうお願いします。（現在、国に要望を続けている事業です。）

Terakoya☆コモンズ～教え合い、学び合う



図書館かわらばん No.4 2017年冬 (注)フロアプランは2017年度時点のものです

ラーニングコモンズの多彩な催し(続き)

教育×お笑い×数学

11月30日(木)には、タカタ先生とお笑い芸人の高田和典さんを招いて、「教育×お笑い×数学」が開かれました。主催は、本学学生サークルcodolaboのつながり交流部門 cue で、学生と社会人を繋ぐ場づくりのイベントをシリーズで行っています。今回は、お笑いライブに爆笑した後、高田さん自身の学生時代や、数学を楽しく学ぶワザなど盛りだくさんのお話が聞けました。「自分の強みを生かして教員になること」を考えるきっかけになった、と参加者の声がありました。

学びのイベントさまざま

ラーニングコモンズでの学びのイベントは多彩で、学生の皆さんならではのオリジナルな企画が豊富です。
1月19日(金)には「教育実習プレ・ポスト」が、教育実習を経験した先輩の声を聞きたいという学生の声を受けて開かれ、好評でした。主催は同じく codolabo の学生部門 stella で、学生が主役のイベントを支援しています。開かれた場であるラーニングコモンズの学び、これからご期待ください。皆さんのご参加・企画持ち込み大歓迎！

図書館かわらばん No.7 2018年春 「学びのにぎわい」を創出しています

図書館キャラクター決定！

最優秀作品：「まなぶんぶん」
橋本 詢加さん (A 類美術科3年) [応募時]

優秀作品：
「アックロー博士、ライ、ブラリ」
近藤 薫さん (学務課職員)

たくさんのご応募ありがとうございました！

表彰式のお知らせ
日時：平成30年4月27日(金) 12:15~12:30
場所：図書館1階ラーニングコモンズ
どなたでも参加いただけますので、みなさまぜひお越しください。

「学びのにぎわい」をキャラクターで表現しています

No. 28 まなぶんぶん 東京学芸大学附属図書館

なまえ まなぶんぶん

住いよ 東京学芸大学附属図書館、ラーニングコモンズがおきにいります。

しゅり 花の蜜を集めるかわりに、本から情報や知識を集めて、仲間と教えあったり学びあったりしています。

とくち おしりの鉛筆。仲間へ何が教えたいときや、学習するときに役立ちます。

図書館で活躍中！

「図書館かわらばん」の発行 (2017年夏創刊)



タイムリーな館内掲示で図書館の活動を伝える (Webにも掲載)

「学びのにぎわい」を発信しています

大石 学 学芸委員長 (附属図書館長) の言葉 (2018年3月31日まで有効)

「専委委員長では、7名の委員が賛同し審査・投票をおこないました。6作品いずれもが力強い作品で、多くは上回る票を獲得されました。選定は1位から2位までの順番で集計し、わずかり点差で「まなぶんぶん」に決まりました。若くは知性・学問のシンボルとして知られるフクロウと、集団でアクティブなイメージのハチとの特徴、そしてハチの習性は、静かな知の集積の場から、活動的な知の創出の場へ、という図書館の大きな変化を象徴しています。新しいキャラクターのもと、図書館に携わる皆さん一人一人が大きく成長するとともに、本学図書館が「教え合い、学び合う」「学びのにぎわい」の場として、さらに発展することを願ってやみません。」